

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	06 03 01	中期総合計画主要施策番号	2-06	担当課	部・課	商工労働部 経営支援課	
事業名	中心市街地再生支援事業			内線	2959		
				E-mail	keieishien@pref.nagano.lg.jp		
実施期間	H20 ~ H24	根拠法令等	中心市街地再生支援事業補助金交付要綱、同交付要領、同実施要領				
実施方法	市町村へ補助金を交付し実施					国庫・県単	県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	・地域における様々な団体、企業及び地域住民と市町村が連携して、中心市街地ににぎわいを取り戻す具体的な計画を策定するとともに、その計画に基づいた事業に自主的・主体的に取り組むことにより、地域コミュニティのよりどころとしての中心市街地の再生を図る。				
	対象	中心市街地を利用する住民、中心市街地で事業を営む者				
	目指すべき姿	地域の人々が一丸となって取り組む自発的な事業を支援することにより、中心市街地の核であり、地域の人々のよりどころでもある商業機能の再生を図る。				
	事業内容	・地域の人々が一丸となって取り組む自発的な事業に要する経費に対して、市町村が補助する場合に補助 (補助率:【県】1/2、【市町村(地元)】1/2) ・補助期間:3年間 【初年度】「中心市街地再生プラン」の策定、アンケート調査、委員会等の開催・実施 【2・3年度目】「中心市街地再生プラン」に計画された各事業の実施 採択事業は、「中心市街地再生支援事業フォローアップ会議」による事業評価(外部評価)を受け、翌年度への移行等が承認される。				

事業コスト	区 分		単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳 ・補助金:(4市町への補助金)26,405千円 ・報償費:(フォローアップ会議委員謝金)64千円 ・旅費:(フォローアップ会議委員費用弁償)8千円
	最終予算額 (A)		千円	21,363	27,883	15,032	
	決 算 額 (B)		千円	20,391	26,477		
	B(H24はA)のうち一般財源		千円	20,391	26,477	15,032	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	0.20	0.20	0.20	
	概算人件費 (C)		千円	1,663	1,652	1,652	
概算事業費 (B(H24はA) + C)		千円	22,054	28,129	16,684		

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績 (効率指標 算出式) 事業費/プランに基づく事業実施件数
	中心市街地再生プランに基づく事業実施(活)	件	3	4	2	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> プランに基づく事業実施	千円/件	7,351	7,032	8,342	

事業の成果	事業の目標(H23)		事業成果・評価				評価区分
	・「中心市街地再生プラン」に基づく事業が適正に実施されること。 ・プランに基づく次年度以降の取組について、翌年度への移行が承認されること。		・千曲市、小布施町、伊那市及び上田市では策定したプランに基づく事業の実施により、地域での活性化の機運が高まった。 ・4市町に対する事業評価が行われ、H23で事業終了となる千曲市、上田市を除く2市で翌年度への移行が承認された。 ・他の地域での取り組みの参考とするため、市町村商工担当者を対象とした事業報告会を行った。				b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明	・モータリゼーションの進展に伴う都市の郊外化により、中心市街地の空洞化やコミュニティの崩壊が進んでおり、中心市街地の活性化に資する事業のニーズは引き続き高い。 ・事業実施に際し、地域住民の積極的な参加を促す手法については、検討の余地がある。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、取組方針等)	・事業主体である「まちづくりグループ」への地域住民の参画、広報の強化等、事業への地域住民の積極的な参加の促進に向けた方策について、引き続き検討する必要がある。 ・補助対象団体に対して、取組の核となるリーダーの育成や、事業の継続実施に向けた仕組みの検討など、補助期間の終了後も見据えた取組の強化について指導・助言を行っていく。				
	特記事項					